

第53回春季全国大会における感染防止対策等行動管理について

= 出場チームマニュアル 運用細則(2023.2.19) =

5月8日から新型コロナの感染症法上の扱いが2類から5類に移行されますが、第53回春季全国大会が開催される3月は2類であり、選手がコロナ感染により試合を欠場するような事がないよう感染リスクを軽減したい。そのことを踏まえ、大会時の行動管理のため本マニュアルを作成した。

本マニュアル通りに行動すれば、例えチーム内で感染者が出ても最小限に留めることができ、大会に継続参加の可能性がある。

そのためにはチーム責任者がチームのすべての大会参加者に対しての行動管理を行い、チーム内で感染対策を徹底し、以下のマニュアルに沿って発熱者ができるだけ出さないように最大限の努力を求めるものである。

[感染防止の三原則 ①マスク着用②換気③消毒の徹底]

1 原則、屋外でのマスク着用は個人の判断に委ねるが、すべての大会参加者は屋内及び車内においてはマスクを着用することで感染を防ぐ。

(注1) やむなくマスクを取る場合は、会話厳禁で距離は1m程度あけること。

マスクを取って止む無く会話しなければならない場合は2m以上距離をあけること

- ① 試合及び練習に於いてグランド内でプレーするものはマスク無しでよい。また、ベンチ内もマスク無しでよい。
- ② 車中や屋内でマスクを取る場合は会話厳禁に加え、他者との顔を近づけず短時間とする
- ③ 移動の車中や屋内では換気を行うこと
- ④ 大会中は、こまめな手洗い・手指消毒と使用後の備品の消毒などの慣行をチームとして義務づけること

[宿泊及び移動、チーム集合時]

- ①宿泊は、シングルユースが望ましい。
- ②宿舎でもマスク着用を基本とする。1部屋2-3名の場合は部屋内でもマスク着用
- ③食事は、黙食の徹底、距離・間隔を1m程度あけ、向かい合わせの場合はパーテーションが必要で、以上を徹底できるように時間差で食事をとり密にならないように工夫する
- ④お風呂は大浴場の利用は原則やめること。(とくに選手はお風呂で話をするため)
- ⑤バス移動(マイクロバス含む)は定員の8割程度とすること(補助座席を使用しない程度)

⑥大会当日は、宿舎またはチームの集合場所で事前に検温を行ない、「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿」に参加者名、選手等の参加種別及び測定結果を記載する

[大会会場到着時]

- ① 大会会場へは1 時間前に到着すること それより以前に到着しないように努める
1 時間前よりも早く到着した場合は大会会場には立ち入らず、密にならないように待機する。（球場責任者に連絡、待機方法の確認し指示に従う）
- ② 会場到着後、本部挨拶は行わない速やかにチーム責任者が到着した旨を本部に伝える
- ③ チーム責任者は大会会場到着後、毎回、速やかに球場責任者に対して、当日の検温結果を記載した「新型コロナウィルス感染症対策当日参加名簿」、「オーダー表」を提出すること
※大会参加同意書は事前にチームを通じて支部長へ提出、また、チームは同意書を確認の上、大会出場選手を選出すること
また、大会2 日目以降は、「投手投球数記録表(正)」及び「投手投球数記録表(副)」を提出する
- ④ 大会参加者は、役員または球場責任者の指示に従い、球場担当から配布されたリストバンドまたはシール等を見えるところに貼り、大会参加者であることを明示する
- ⑤ 大会会場の待機場所においても密にならず本マニュアルに沿って行動すること

[試合前審査]

- ① 試合前審査は、コロナ禍前と同様に第1 試合はベンチ前で、それ以外は、前試合の4回終了までに道具を並べ、整列して行う
- ② 審査は、役員・選手は横との距離を1m程度あけ整列し、選手は氏名、生年月日を発声しないで、審査証を右手で見えるように審査者に向けて審査を受ける
- ③ 併せて道具審査も実施する。同時に球場運営責任者が指導者・選手などに本マニュアルの「感染防止の三原則」等の必要な事項について説明・確認する

[球場入場時]

- ① 役員、指導者、選手全員に、アルコール消毒を実施する。観客席も同様とする
なお、球場によっては観客席がない場合や観戦できないこともあります、その場合の待機はチーム責任者が本マニュアルに沿って待機を指導する
- ② 消毒用アルコール等をベンチ内に持ち込むこと

[試合開始、試合中]

- ① 試合前挨拶は、対戦相手とは2m以上あけてホーム前に整列する
- ② 試合開始の審判による両チームの挨拶は、声を出さず脱帽、礼のみとする

ホーム前での試合終了時の挨拶も同様に声を出さず脱帽、礼をもって挨拶とする

- ③ 捕手用のマスクは、交代時に必ずアルコール消毒を行う
- ④ メガホンの使用や大声での指導、ハイタッチ等は禁止
- ⑤ 飲み物は、一人一人のペットボトルや水筒を使いチームジャグでの回し飲みは禁止
- ⑥ 観客席の保護者等大会参加者は座席を開けて座るなど密にならない様に着席、
メガホンや大声での声援は禁止する（鳴り物は禁止）

* 球場責任者等による指導に対して聞き入れない場合は役員・球場責任者が協議を行ったうえで大会参加を取りやめていただき退場処分とする

[試合終了後]

- ① 試合終了後はベンチ内を持参した消毒用アルコールで消毒する
- ② 消毒後、速やかにミーティング等は行わずベンチを開けること
- ③ 試合終了後は、観客席の応援チームでスタンドの清掃、消毒を行ない退場する
- ④ 勝ったチームのチーム責任者は本部に「投手投球数記録表(副)」を提出し、球場責任者の確認後「投手投球数記録表(正)」を受け、翌日の大会会場へ持参する
- ⑤ チームミーティングは、行わず速やかに大会会場から宿舎等へ移動すること
なお、ダブルヘッダーで出場する場合は、球場責任者の指定する待機場所で本マニュアルに沿って、黙食で昼食をとるなど感染防止対策を講じて、次の試合まで待機する
《特記》本マニュアルはコロナ感染拡大防止対策で屋内はマスク着用としているが
(注1) で表記している状況をつくる事

★発熱等の症状や感染者が出た場合

- ① 発熱（37.0°C以上）・咽頭通・倦怠感などの症状が出た場合は、速やかに医療機関等を受診し、必ずPCR検査または、抗原検査を実施すること
- ② チーム責任者は速やかに所属ブロック長経由で大会本部に連絡すること
- ③ 発熱者（37.0°C以上）が発生した場合、チーム責任者はチーム関係者の検温を小まめに実施し、新たな発熱者がいないかチェックを行う。発熱者以外は、本マニュアルの感染防止策を徹底して大会参加及びチーム活動を行う
- ④ チーム責任者は、検温状況を都度、所属ブロック長に報告する。
- ⑤ 連盟本部が所属ブロック長、チーム責任者から事情を聴き取り本マニュアルに沿って判断する
- ⑥ 感染者は、発症から7日間は隔離となる。発病者からの感染で濃厚接触者となったものは、無症状であれば、5日間の隔離となり、その後発症すればその時から7日間の隔離となる。
なお、陽性者と最終接觸があった日を0日目として翌日から2日目及び2日目に検査を行い、

陰性であれば3日目から待機を解除することができる。

※都市部では、保健所・保健福祉センター等の行政機関が濃厚接触者の特定はしていない。